

科目ナンバー	SEM-3-004-ky			科目名	課題演習Ⅱ（松本）		
教員名	松本 学			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	臨床発達心理学的な見地から,こどもや障害を有する人の心理、またその背後にある発達心理学的な考え方について,文献講読と研究発表を通して学習する。授業を通じて卒業研究を行うための心理学的な基本知識や読解力、理解力等を養うことを目指したい。						
到達目標	課題演習Ⅰにひきつづき、発達心理学の基本的知見を文献を通じて学習するとともに,卒業研究に向けて自らのテーマを見だし,発表することを目指す。また、最終的には自らのテーマについて文献研究やフィールドワークの知見をもとに次年度の卒業研究に向けての方向性を定めることが求められる。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	文献講読および研究発表を行う。双方ともに発表、ディスカッション、資料作成が求められる。また、各自の研究遂行に当たっては、文献研究などでえられた知見を地域社会に関わることでより実践的な理解に深めることも求められる。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング	○	課題解決型学修	○		
受講条件 前提科目	当ゼミの選抜を通過した学生						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常の学習状況(参加・発表・作成レジュメ)を総合して評価する。						
教材	講義中に適宜紹介する。						
参考図書	講義中に適宜紹介する。						
内容・スケジュール	課題演習Ⅰと同様、文献講読と研究発表を隔週で実施する(第1回目授業でスケジュールを決定するため,該当学生は必ず出席すること)。履修学生は双方ともに複数回の発表をおこなうことが求められる。また、研究発表に当たっては、指導教官の事前指導をうけること。いずれの作業も長時間の授業外学習が必要となるため、計画的に学習を進めることが不可欠である。						

Number	SEM-3-004-ky	Subject	Junior Specialty Seminar II			
Name	松本 学(Mataumoto Manabu)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	2	
Course outline	0	Following the previous semester, we will learn basic findings of development psychology and psychology for people with disability though reading documents, presenting research, and having discussions. Through this course, we aim to cultivate the ability to perform graduation research.?				